

ソバスプラウトの栽培を研究 飯沼 新吾 さん

■プロフィール…2005年3月にJA鹿追町を退職。02年5月に設立した「もぎたて市」の立ち上げに携わり、地元産の野菜販売に尽力。そは店「おぶくるぎた」の経理を担当。61歳。ソバスプラウトの問い合わせは自宅（0156・66・3573）へ。

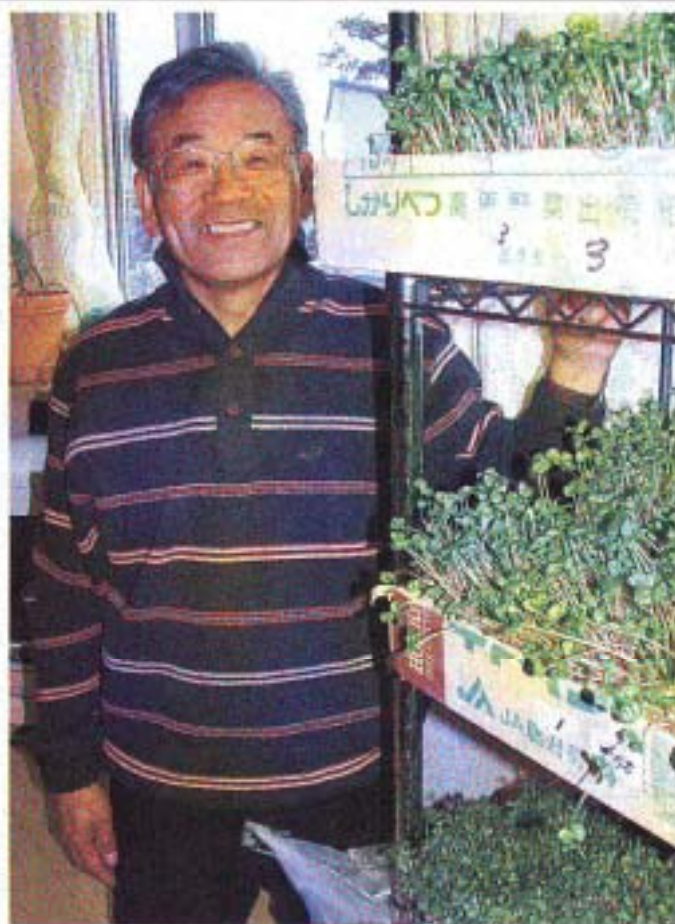
「冬期間は青物野菜が少なく、『もぎたて市』の売り場が寂しくなります。室内で栽培できるソバスプラウトの生産方法を極め、普及させたい」

「冬期間は青物野菜が少なく、『もぎたて市』の売り場が寂しくなります。室内で栽培できるソバスプラウトの生産方法を極め、普及させたい」

「冬期間は青物野菜が少なく、『もぎたて市』の売り場が寂しくなります。室内で栽培できるソバスプラウトの生産方法を極め、普及させたい」

「冬期間は青物野菜が少なく、『もぎたて市』の売り場が寂しくなります。室内で栽培できるソバスプラウトの生産方法を極め、普及させたい」

「冬期間は青物野菜が少なく、『もぎたて市』の売り場が寂しくなります。室内で栽培できるソバスプラウトの生産方法を極め、普及させたい」



「年間を通して生鮮野菜を置きたい」

輪和話

生を抑えるのが最大の課題だった。「シャワーのように水をかけて雑菌を洗い流す方法もあります。一般家庭向きではありません。『誰でも簡単にできる』方法でなければ普及しません」とい

「栽培方法はまだ完全ではありません。ソバの殻が葉に残ることや発芽率をもっと上げることなど課題があります。講習会などで多くの人に栽培技術を広めていきたい。挑戦はまだまだ続く。」

（成田融）